

# 環境経営レポート



エヌシーアイ販売株式会社

2023 年度

(対象期間 : 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



本社工場



環境問題に貢献する  
**リサイクルトナーカートリッジ**

- ✓ 再利用だから、地球にやさしい
- ✓ 世界品質基準STMC保証の高品質
- ✓ 経費の大幅なコストダウンが可能



エヌシーアイ販売は、E&Qマーク、エコアクション21、STMCを取得しております。



作成日 : 2024年05月31日  
更新日 : 2024年10月29日

## 目 次

| 項 目                                 | ページ  |
|-------------------------------------|------|
| ごあいさつ                               | 3    |
| 環境経営方針                              | 3    |
| 組織の概要                               | 4    |
| 認証・登録の対象組織・活動                       | 4    |
| 事業・製品の紹介                            | 4    |
| 環境経営組織図及び役割・責任・権限表                  | 5    |
| 主な環境負荷の実績                           | 6    |
| 環境経営目標及びその実績                        | 7    |
| 環境経営計画の取組結果とその評価                    | 8～11 |
| 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無 | 12   |
| 緊急事態対応訓練                            | 12   |
| 地域社会への貢献と生物多様性への配慮                  | 12   |
| 代表者による全体の評価と見直し・指示                  | 13   |



## □ごあいさつ

当社は、創業以来、其の職種によるとは思いますが、3Rを推進してまいりました。同業者と比較しても、如何にリユース率を高めるか、其の中で如何に品質を維持していくか、社員一同が一丸となって取り組んでまいりました。職業柄、たくさんの産廃物、使用済みのコピー用紙、ダンボール類等々、本当に毎日が産廃物との戦いですが、其の中で、常に法を遵守し、マニフェストに則り、全ての産廃物の分別処理を行い、業者にお渡しし、リサイクルされ、再び新しい商品、形を変えた商品となって、世に循環されてくる事を信じて日々頑張っております。社内ではゴミの少量化を行う為の機器を設置する、輸送コストを抑える、無駄な電気の使用を抑える、無駄な物を購入しない、無駄な物を徹底して削減する3M運動を推進しております。

地球環境は、益々悪くなっていきます。其の中で、当社がどれだけ貢献できるのかはわかりませんが、社員一同一丸となって、この環境ビジネスのモデルとなれるように頑張っております。

## □環境経営方針

### 環境経営方針

#### <環境経営理念>

エヌシーアイ販売株式会社は、プリンター用トナーカートリッジの再生事業を通じて、物の大切さ、リユースの理念に基づき、積極的に環境問題を意識し、環境経営システムを構築し、運営維持する事により、自然と地球環境に優しい企業を目指します。

#### <環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①資源及びエネルギーの消費を適正化し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  1. 電力使用量の削減。
  2. 資源（ガソリン）使用量の削減。
- ②廃棄物の削減及び再資源化の推進に努めます。
  1. 一般及び産業廃棄物の分別の徹底。
  2. リサイクル率の向上。
- ③水資源投入量の適正化に努めます。
  1. 水使用量の削減。
- ④生産活動において、製品のリユース率を高める生産技術を開発し、環境問題に留意貢献した加工技術と製品開発を確立し、エコマーク取得製品の販売に努めます。
- ⑤グリーン購入等、環境に配慮した資材の調達に努めます。
- ⑥化学物質の適正管理と安全性確保に努めます。
- ⑦生物多様性に配慮した構内および周辺の環境整備に努めます。

2. 本方針や環境関連法規制を全従業員に周知徹底を図り、遵守します。

制定日：2009年10月02日

改定日：2018年04月01日

代表取締役 **大澤 恒三**

## □組織の概要

更新日：2024年5月31日

- (1) 名称及び代表者名  
エヌシーアイ販売株式会社  
代表取締役 大澤 恒三
- (2) 所在地  
本社工場：兵庫県神戸市北区赤松台1-2-33  
東京営業所：東京都江東区大島2-31-8 渡辺ビル  
WEB：<https://www.ncis.co.jp>
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者：総務部長 中尾 浩一  
TEL：078-986-0701  
担当者：総務部 脇水 秀和  
TEL：078-986-0701
- (4) 事業内容  
レーザープリンター用トナーカートリッジの再生販売及びコンピュータ周辺機器・消耗品の販売
- (5) 事業の規模
- |                      | 本社工場                  | 東京営業所             | 合計                    |
|----------------------|-----------------------|-------------------|-----------------------|
| 売上高 百万円              |                       |                   | 490 百万円               |
| 従業員 名                | 25 名                  | 3 名               | 28 名                  |
| 延べ床面積 m <sup>2</sup> | 10,391 m <sup>2</sup> | 48 m <sup>2</sup> | 10,439 m <sup>2</sup> |
- (6) 事業年度 4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 エヌシーアイ販売株式会社  
対象事業所 本社工場  
東京営業所  
(当社全組織で認証・登録)  
対象外 なし

## □事業・製品の紹介

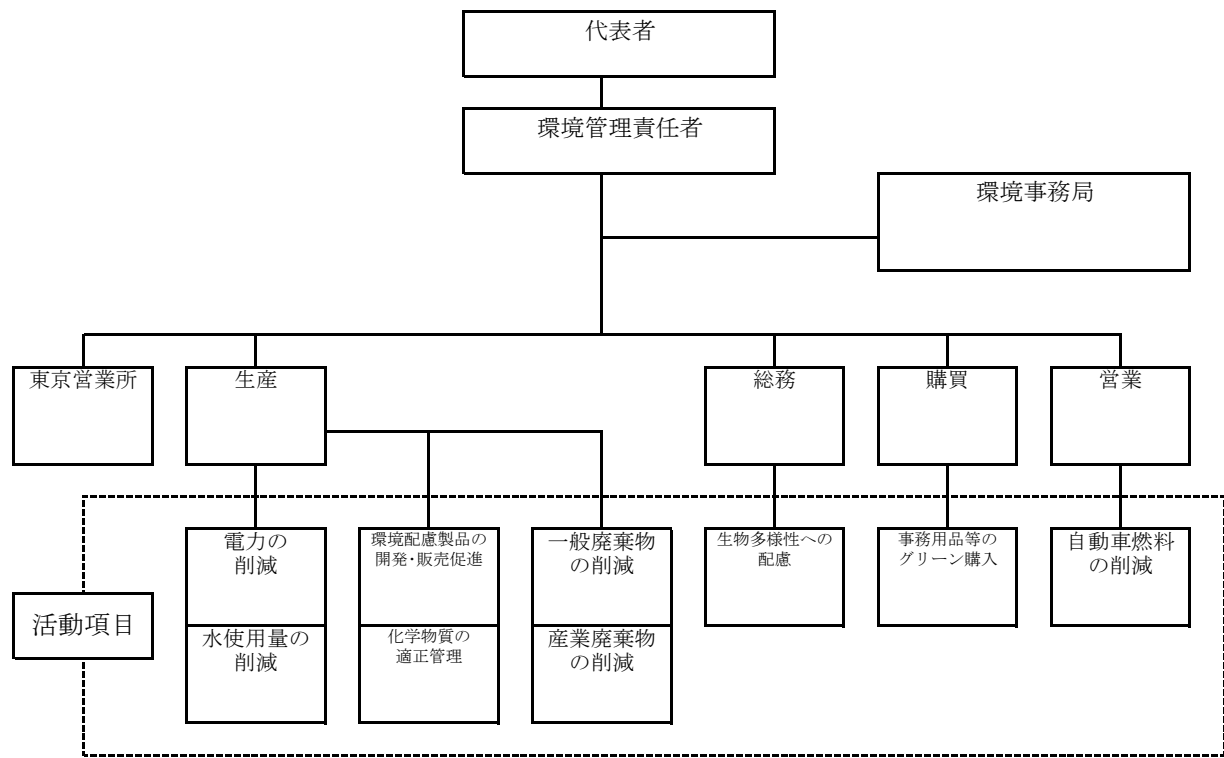
リサイクルトナーカートリッジとは、使用済のトナーカートリッジを、回収、分解、清掃、部品交換、組立、トナー充填を行い、再使用可能にしたものです。廃棄されてしまう使用済のトナーカートリッジを再利用いたします。本来であれば、環境問題（産業廃棄物）につながる、廃棄される使用済のトナーカートリッジを、平均2回から5回再利用することで、資源の有効活用、地球環境問題への取り組みへ参加する事になります。そしてさらに経費削減効果が得られる素晴らしいものとなっております。

使用済みとなったトナーカートリッジは産業廃棄物となりますので、純正品トナーカートリッジを1度だけ使用して廃棄してしまうと、環境問題に繋がってしまいます。それに対し、リサイクルトナーカートリッジは、使用済のトナーカートリッジを複数回再利用する事により無駄をなくし、地球環境保護と資源の有効活用に大きな貢献ができます。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年5月31日

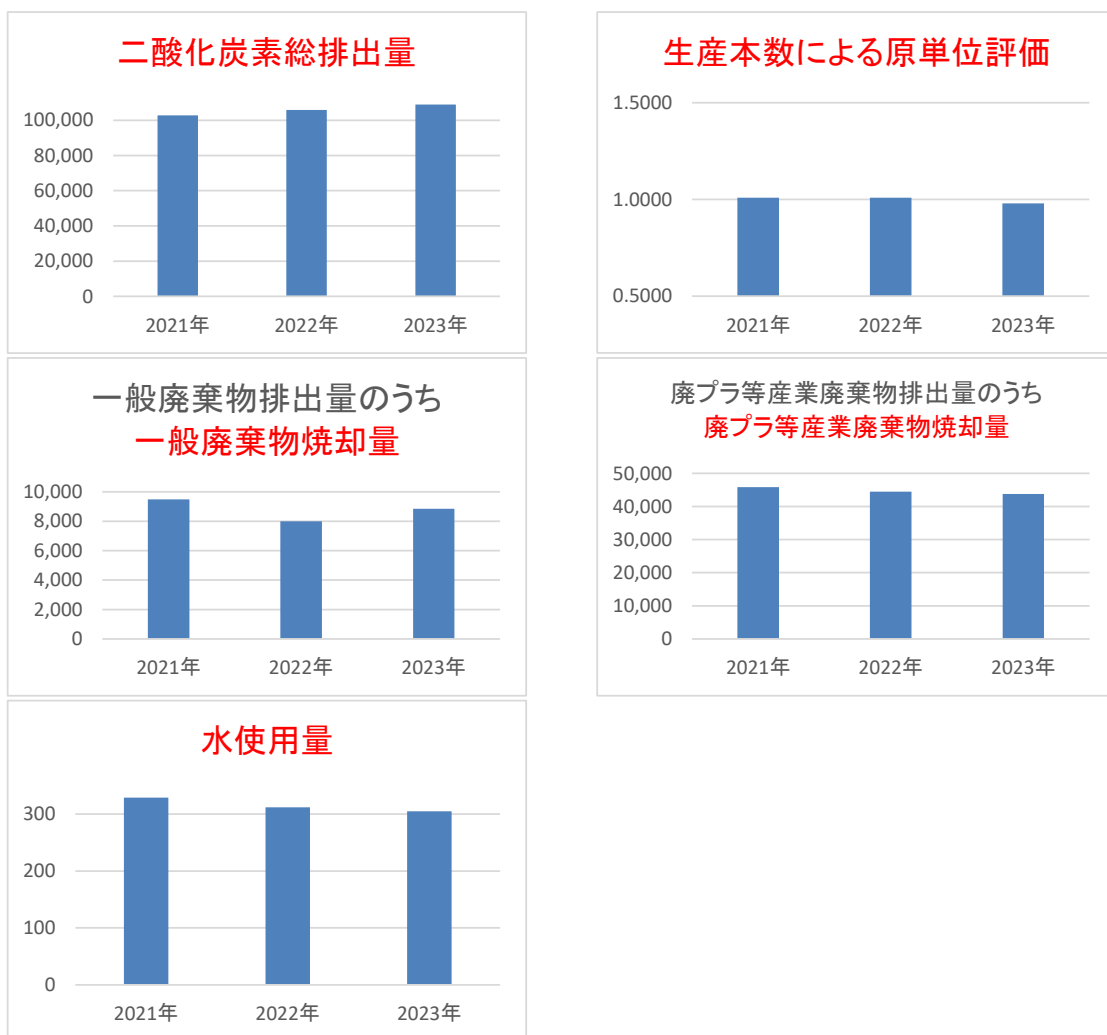


|         | 役割・責任・権限                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者     | <ul style="list-style-type: none"><li>・環境経営に関する統括責任者</li><li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li><li>・環境経営管理責任者を任命</li><li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li><li>・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認</li><li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li><li>・環境経営レポートの承認</li></ul>                                                                                 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"><li>・環境経営システムの構築、実施、運用の管理</li><li>・環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li><li>・環境経営目標・環境経営活動計画書を確認</li><li>・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告</li><li>・環境経営レポートの確認</li></ul>                                                                                                                                                  |
| 環境事務局   | <ul style="list-style-type: none"><li>・環境経営管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li><li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li><li>・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成</li><li>・環境経営活動の実績集計</li><li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</li><li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li><li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li><li>・環境経営レポートの作成、公開<br/>(事務所に備付けと地域事務局への送付及び自社ホームページへの展開)</li></ul> |
| 部署代表者   | <ul style="list-style-type: none"><li>・自部門における環境経営システムの実施</li><li>・自部門における環境経営方針の周知</li><li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li><li>・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告</li><li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li><li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成<br/>テスト、訓練を実施、記録の作成</li><li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li></ul>                                             |
| 全従業員    | <ul style="list-style-type: none"><li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li><li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li></ul>                                                                                                                                                                                                                  |

## □主な環境負荷の実績

| 項 目            | 単位                    | 2021年   | 2022年   | 2023年   | 前年対比   |
|----------------|-----------------------|---------|---------|---------|--------|
| 購入電力           | kWh                   | 156,120 | 160,300 | 176,311 | 10.0%  |
| 二酸化炭素総排出量      | kg-CO <sub>2</sub>    | 102,734 | 105,861 | 108,986 | 3.0%   |
| 電力による排出量       |                       | 90,393  | 92,814  | 95,384  | 2.8%   |
| L P ガスによる排出量   |                       | 306     | 283     | 282     | -0.4%  |
| ガソリンによる排出量     |                       | 12,035  | 12,764  | 13,320  | 4.4%   |
| 生産本数による原単位評価   | kg-CO <sub>2</sub> /本 | 1.0093  | 1.0086  | 0.9795  | -2.9%  |
| 廃棄物排出量         |                       |         |         |         |        |
| 一般廃棄物排出量       | kg                    | 56,821  | 58,192  | 60,530  | 4.0%   |
| 一般廃棄物再資源化量     |                       | 47,332  | 50,199  | 51,687  | 3.0%   |
| 一般廃棄物焼却量       |                       | 9,489   | 7,993   | 8,843   | 10.6%  |
| 廃プラ等産業廃棄物排出量   | kg                    | 73,779  | 95,542  | 56,444  | -40.9% |
| 廃プラ等産業廃棄物再資源化量 |                       | 27,960  | 51,055  | 12,670  | -75.2% |
| 廃プラ等産業廃棄物焼却量   |                       | 45,819  | 44,487  | 43,774  | -1.6%  |
| 水使用量           | m <sup>3</sup>        | 329     | 312     | 305     | -2.2%  |

※二酸化炭素排出係数 0.541 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社（大和ハウス工業）の調整後の係数。  
（参考数値：東京ガス） 0.382 東京営業所は消費量が少ないため、全社共通で大和ハウス工業の係数を使用。  
L P ガスの排出量は使用量が少ないため、数値の把握のみ。基準年維持とし、目標設定は行わない。  
本社工場従業員 25 名、東京営業所従業員 3 名であるので、環境負荷は全社として把握。



## □環境経営目標及びその実績

| 年 度<br>項 目                                                  |                        | 基準値     | 2023年      |         | 評<br>価 | 2024年   | 2025年   |
|-------------------------------------------------------------|------------------------|---------|------------|---------|--------|---------|---------|
|                                                             |                        |         | 上段：<br>下段： | 通期      |        |         |         |
|                                                             |                        | (基準年)   | (目標)       | (実績)    |        | (目標)    | (目標)    |
| 電力による二酸化炭素削減(数値の把握のみ)                                       | kg-CO <sub>2</sub>     | 88,502  | 88,769     | 95,384  | ／      | 88,769  | 88,769  |
|                                                             | 基準年度比                  | 2016年   | 100.3%     | 108%    |        | 100.3%  | 100.3%  |
|                                                             |                        |         |            |         |        |         |         |
| LPガスによる二酸化炭素削減(数値の把握のみ)                                     | kg-CO <sub>2</sub>     | 275     | 275        | 282     | ／      | 275     | 275     |
|                                                             | 基準年度比                  | 2016年   | 100%       | 103%    |        | 100%    | 100%    |
|                                                             |                        |         |            |         |        |         |         |
| 自動車燃料による二酸化炭素削減                                             | kg-CO <sub>2</sub>     | 23,422  | 15,411     | 13,320  | ○      | 15,411  | 15,411  |
|                                                             | 基準年度比                  | 2016年   | 66%        | 57%     |        | 66%     | 66%     |
|                                                             |                        |         |            |         |        |         |         |
| 上記二酸化炭素排出量合計                                                | kg-CO <sub>2</sub>     | 112,199 | 104,455    | 108,986 |        | 104,455 | 104,455 |
| 生産本数による原単位<br>kg-CO <sub>2</sub> /本数(電力によるCO <sub>2</sub> ) | kg-CO <sub>2</sub> /本数 | 0.943   | 0.990      | 0.979   | ○      | 0.990   | 0.990   |
|                                                             | 基準年度比                  | 2016年   | 105%       | 104%    |        | 105%    | 105%    |
|                                                             |                        |         |            |         |        |         |         |
| 一般廃棄物焼却量の削減                                                 | kg                     | 13,511  | 13,511     | 8,843   | ○      | 13,511  | 13,511  |
|                                                             | 基準年度比                  | 2016年   | 100%       | 65%     |        | 100%    | 100%    |
|                                                             |                        |         |            |         |        |         |         |
| 廃プラ等産業廃棄物焼却量の削減                                             | kg                     | 74,472  | 62,420     | 43,774  | ○      | 62,420  | 62,420  |
|                                                             | 基準年度比                  | 2016年   | 83.8%      | 59%     |        | 83.8%   | 83.8%   |
|                                                             |                        |         |            |         |        |         |         |
| 水使用量の削減                                                     | m <sup>3</sup>         | 337     | 354        | 305     | ○      | 354     | 354     |
|                                                             | 基準年度比                  | 2016年   | 105%       | 91%     |        | 105%    | 105%    |
|                                                             |                        |         |            |         |        |         |         |
| 化学物質の適正管理                                                   | kg                     | 525     | 525        | 210     | ／      | 525     | 525     |
|                                                             | 基準年度比                  | 2014年   | 100%       | 40%     |        | 100%    | 100%    |
|                                                             |                        |         |            |         |        |         |         |
| 環境に配慮した生産活動                                                 | アイテム数                  | 189     | 197        | 197     | ○      | 198     | 198     |
|                                                             | 基準年度比                  | 2018年   | 104%       | 104%    |        | 105%    | 105%    |
|                                                             |                        |         |            |         |        |         |         |

LPガスの排出量を基準年に遡り把握し、項目に追加。生産活動に使用することはなく、使用量も少量のため基準年を維持し、行動目標(貼り紙などによる節約呼びかけ)を設定し活動。

原単位評価は、kg-CO<sub>2</sub>/生産本数での評価で行う。

東京営業所の水道は個別に把握できないため、目標設定は行っていない。

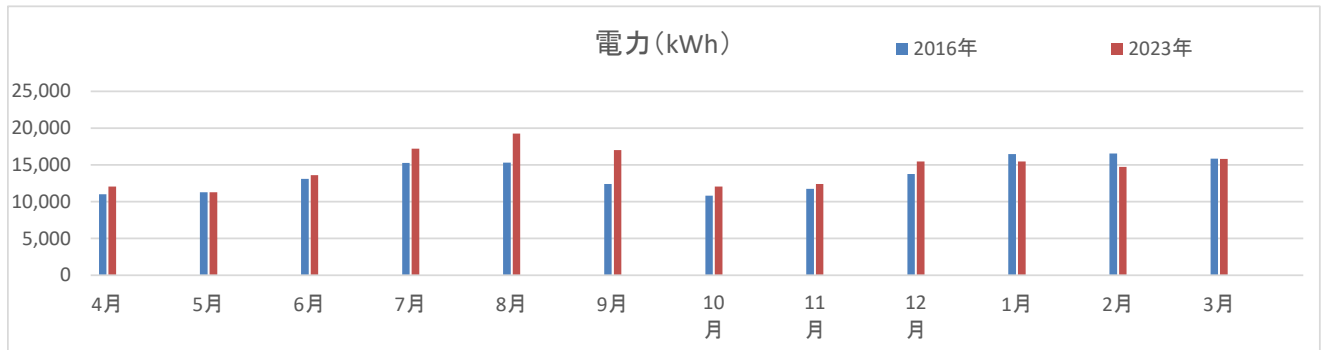
化学物質使用量削減は行動目標(保護具などの適切な使い方の周知、施錠管理の継続)を設定し活動。

## □環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

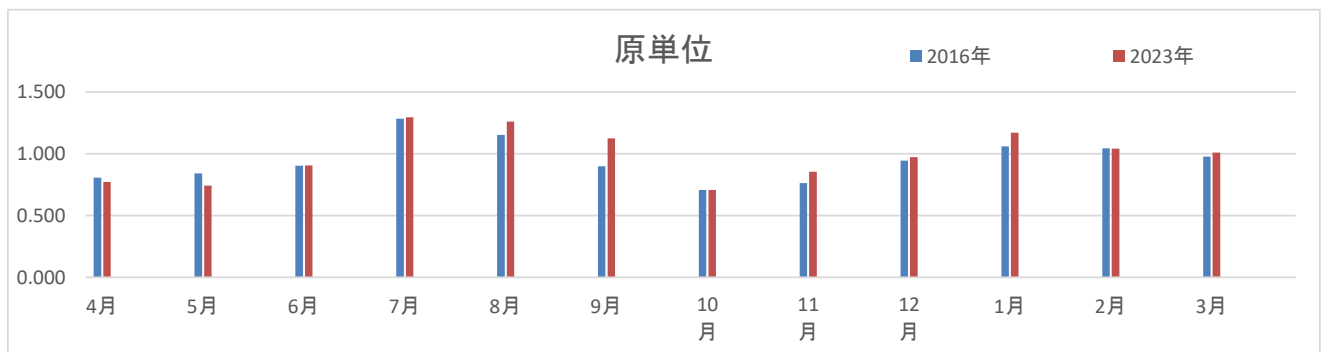
数値目標：○達成 ×未達成

活動：○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 電力による二酸化炭素削減(数値の把握のみ)     | 達成状況 | 取組結果とその評価                                                                                                                                |
|---------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数値目標 (原単位)                | ○    | 営業活動もコロナ禍時と比べると活発になり、生産量が増加しています。それに比例して電量使用量自体は増加していますが、生産1本あたりにかかる二酸化炭素量は目標を達成できています。より良い結果を出すために、生産計画や生産工程で改善できることを探していくように進めていきましょう。 |
| ・不要照明消灯、省電力設定、夜間等主電源オフ    | ○    |                                                                                                                                          |
| ・空調の適温化 (冷房28℃程度、暖房20℃程度) | ○    |                                                                                                                                          |
| ・サーキュレーター、日よけ等による温度調整     | ○    |                                                                                                                                          |
| ・工程ロス削減、加工ミス削減            | ○    |                                                                                                                                          |
| ・コンプレッサーのエアもれ、圧力チェック      | ○    |                                                                                                                                          |
|                           |      |                                                                                                                                          |



| kWh   | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2016年 | 11,000 | 11,282 | 13,109 | 15,282 | 15,317 | 12,404 | 10,800 | 11,747 | 13,770 | 16,482 | 16,552 | 15,845 |
| 2023年 | 12,052 | 11,284 | 13,613 | 17,191 | 19,253 | 17,009 | 12,059 | 12,405 | 15,454 | 15,477 | 14,712 | 15,802 |



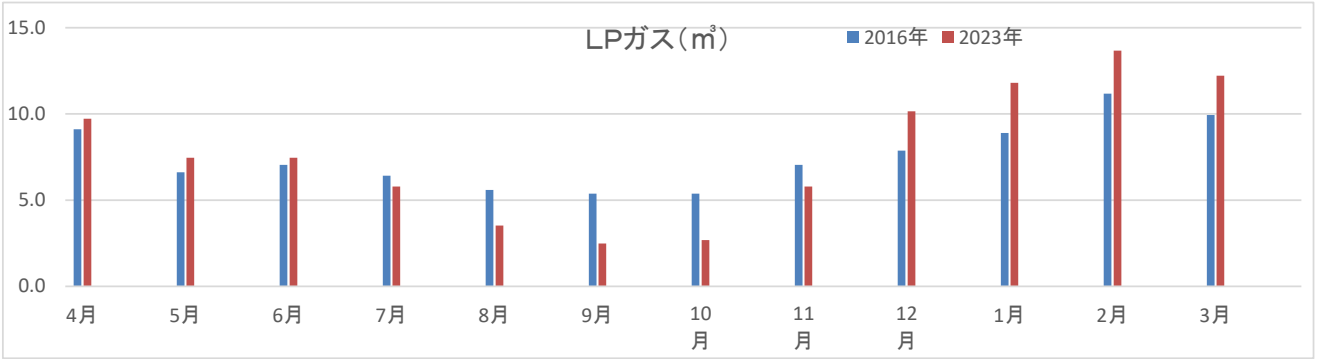
| 原単位   | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2016年 | 0.806 | 0.842 | 0.904 | 1.283 | 1.151 | 0.898 | 0.706 | 0.762 | 0.945 | 1.059 | 1.044 | 0.978 |
| 2023年 | 0.772 | 0.742 | 0.906 | 1.295 | 1.261 | 1.124 | 0.708 | 0.855 | 0.971 | 1.170 | 1.041 | 1.009 |

生産本数による原単位評価【kg-CO<sub>2</sub>/本数(電力によるCO<sub>2</sub>)】

※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続／各種設備の買換検討／断熱塗料の検討

※LPガスの排出量は使用量が少ないため、数値の把握のみ。基準年維持とし、目標設定は行わない。

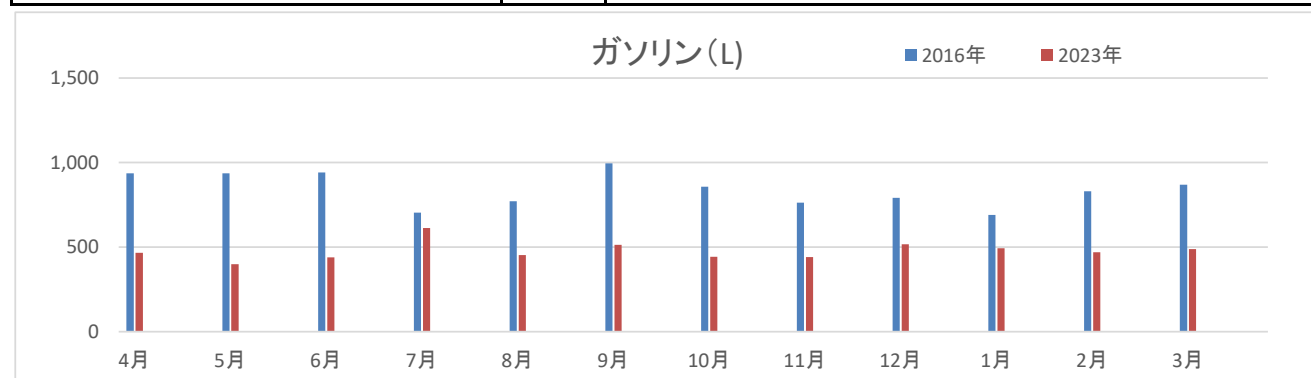
| LPガスによる二酸化炭素削減(数値の把握のみ) | 達成状況 | 取組結果とその評価                                       |
|-------------------------|------|-------------------------------------------------|
| ・貼り紙などによる節約呼びかけ         | ○    | 基準年対比で+3%、前年-0.4%と大きな動きはありません。引き続き数字の把握をお願いします。 |
|                         |      |                                                 |
|                         |      |                                                 |
|                         |      |                                                 |



|       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|
| 2016年 | 9.1 | 6.6 | 7.0 | 6.4 | 5.6 | 5.4 | 5.4 | 7.0 | 7.9  | 8.9  | 11.2 | 9.9  |
| 2023年 | 9.7 | 7.5 | 7.5 | 5.8 | 3.5 | 2.5 | 2.7 | 5.8 | 10.1 | 11.8 | 13.7 | 12.2 |

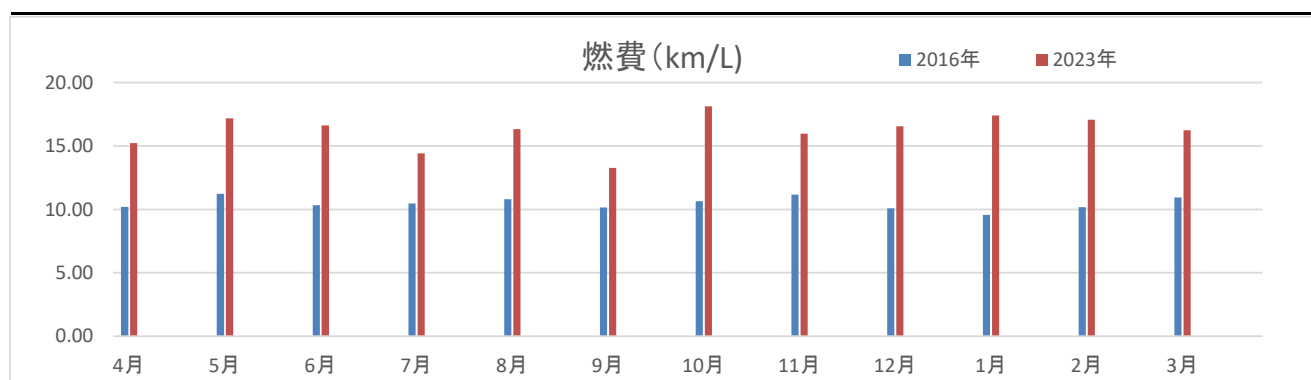
※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続

| 自動車燃料による二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価                                                                                                                                                                                                |
|-----------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数値目標            | ○    | 基準年対比-43.1%、前期対比+4.4%です。営業活動もコロナ禍時と比べると活発になりましたので、徐々に総排出量は増加してきています。燃費では前期16.14km/Lに対して、今期16.12km/Lと若干燃費が落ちていますが、車両の老朽化によって燃費も悪くなっていきます。予算の都合もありますが、残りのガソリン車をハイブリッド車へ変更できれば大きく削減が出来ますので、入替のタイミングを図って下さい。 |
| ・エコドライブマニュアル    | ○    |                                                                                                                                                                                                          |
| ・車輛の定期メンテナンス    | ○    |                                                                                                                                                                                                          |
| ・電車等公共交通機関の利用   | ○    |                                                                                                                                                                                                          |
| ・ハイブリッドカーの利用    | ○    |                                                                                                                                                                                                          |



|       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2016年 | 937 | 937 | 942 | 703 | 772 | 995 | 858 | 762 | 792 | 691 | 830 | 870 |
| 2023年 | 466 | 399 | 439 | 613 | 453 | 514 | 442 | 441 | 517 | 494 | 470 | 489 |

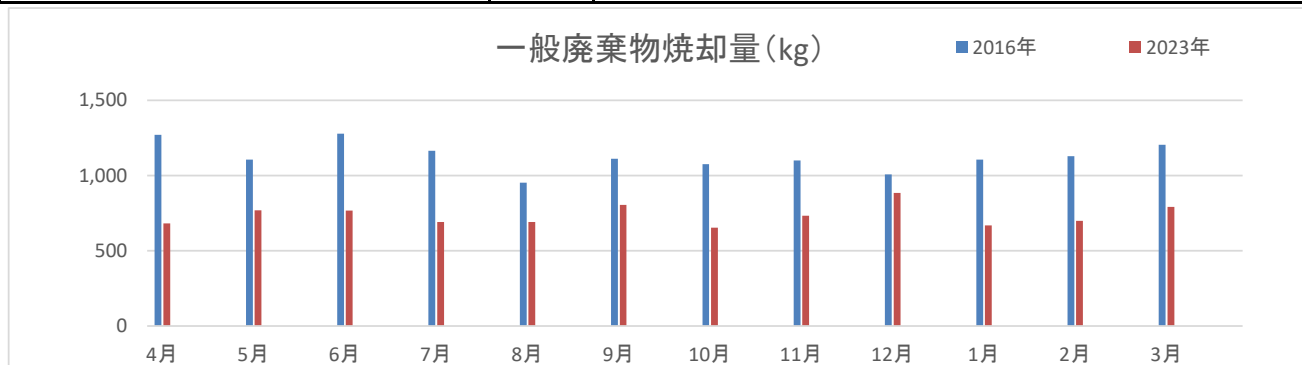
※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続／営業コース指定検討／ハイブリッドカー買換検討



|       | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2016年 | 10.19 | 11.24 | 10.34 | 10.47 | 10.81 | 10.16 | 10.65 | 11.16 | 10.07 | 9.57  | 10.17 | 10.93 |
| 2023年 | 15.22 | 17.19 | 16.61 | 14.41 | 16.33 | 13.27 | 18.13 | 15.96 | 16.56 | 17.41 | 17.07 | 16.25 |

※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続／営業コース指定検討／ハイブリッドカー買換検討

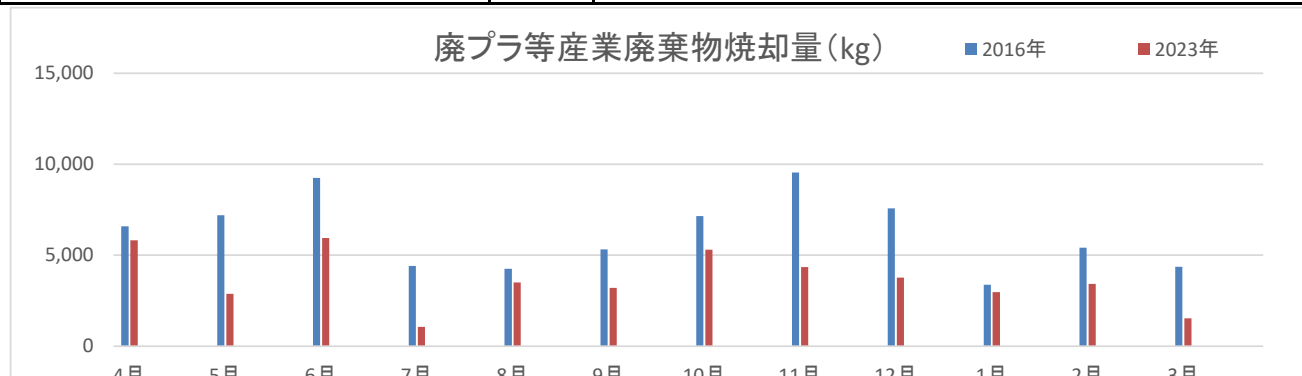
| 一般廃棄物焼却量の削減           | 達成状況 | 取組結果とその評価                                                                                                                  |
|-----------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数値目標                  | ○    | 目標は達成できていますが、コロナ禍が落ち着き、営業活動、生産活動が活発になっています。営業の目標予算では売上を増やす事になっていますのが、予算達成すれば必然的に廃棄の増加も予想されます。引き続き数字の推移に注意して、継続した活動をお願いします。 |
| ・工程ロス削減、加工ミス削減        | ○    |                                                                                                                            |
| ・各種書類等の簡素、化裏紙使用       | ○    |                                                                                                                            |
| ・リターナブル容器、詰替容器製品を優先購入 | ○    |                                                                                                                            |
| ・梱包資材の削減、再利用          | ○    |                                                                                                                            |
| ・ゴミを圧縮減容して廃棄          | ○    |                                                                                                                            |



|       | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月  | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2016年 | 1,270 | 1,107 | 1,279 | 1,165 | 952 | 1,111 | 1,077 | 1,101 | 1,008 | 1,107 | 1,129 | 1,204 |
| 2023年 | 683   | 770   | 767   | 692   | 692 | 806   | 654   | 734   | 885   | 668   | 700   | 792   |

※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続／リサイクル業者選定検討／梱包資材再利用率向上

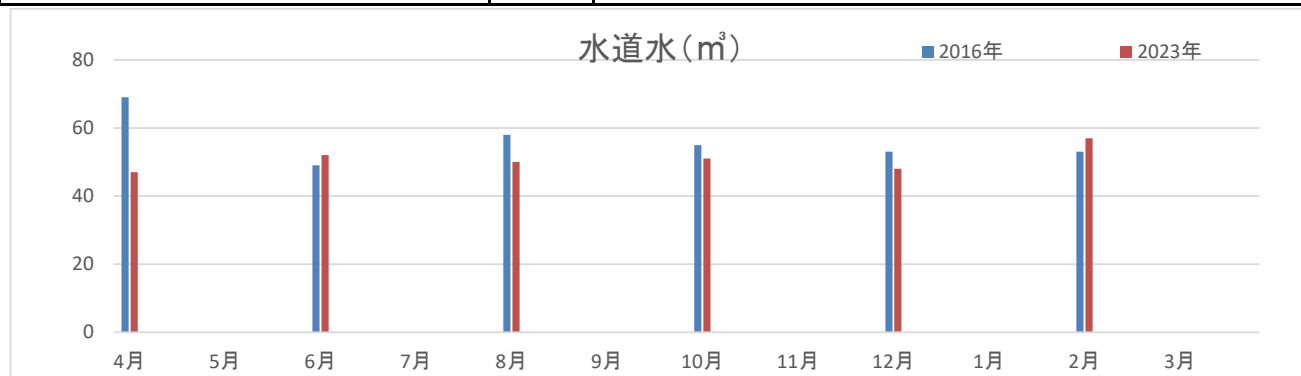
| 廃プラ等産業廃棄物焼却量の削減       | 達成状況 | 取組結果とその評価                                                                                                                                    |
|-----------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数値目標                  | ○    | 基準年-41.2%、前年-1.6%の結果です。生産量は増加しましたが、廃棄量は若干削減できました。ラインナップも変わっていき、効果的なパーツの再利用が出来た結果です。売れ筋にやパーツの状況によって大きく増減することはありますが、引き続き削減に力を入れて継続した活動をお願いします。 |
| ・工程ロス削減、加工ミス削減        | ○    |                                                                                                                                              |
| ・リターナブル容器、詰替容器製品を優先購入 | ○    |                                                                                                                                              |
| ・梱包資材の削減、再利用          | ○    |                                                                                                                                              |
| ・O A 器機を修理して長期間使用     | ○    |                                                                                                                                              |
|                       | ○    |                                                                                                                                              |



|       | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2016年 | 6,590 | 7,200 | 9,248 | 4,410 | 4,258 | 5,322 | 7,152 | 9,554 | 7,578 | 3,374 | 5,416 | 4,370 |
| 2023年 | 5,819 | 2,877 | 5,953 | 1,064 | 3,497 | 3,203 | 5,304 | 4,353 | 3,768 | 2,977 | 3,428 | 1,533 |

※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続／リサイクル業者選定検討／部材再利用率向上

| 水使用量の削減             | 達成状況 | 取組結果とその評価                                     |
|---------------------|------|-----------------------------------------------|
| 数値目標                | ○    | 基準年-9.5%、前年-2.2%の結果です。漏水に注意しながら継続した活動を進めて下さい。 |
| ・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示 | ○    |                                               |
| ・ 定期漏水点検（メータ確認）     | ○    |                                               |
|                     |      |                                               |



|       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 2016年 | 69 | 0  | 49 | 0  | 58 | 0  | 55  | 0   | 53  | 0  | 53 | 0  |
| 2023年 | 47 | 0  | 52 | 0  | 50 | 0  | 51  | 0   | 48  | 0  | 57 | 0  |

※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続／雨水利用設備検討／水流音発生器検討

| 化学物質の適正管理     | 達成状況 | 取組結果とその評価                                     |
|---------------|------|-----------------------------------------------|
| ・ 有害性物質の表示の徹底 | ○    | 部品清掃に使用する化学物質については、作業方法の見直しなどで使用量の削減に留意して下さい。 |
| ・ 容器の蓋の徹底     | ○    |                                               |
| ・ 保護具の適切使用の周知 | ○    |                                               |
| ・ 施錠保管徹底      | ○    |                                               |

※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続

| グリーン購入の推進          | 達成状況 | 取組結果とその評価                                             |
|--------------------|------|-------------------------------------------------------|
| ・ グリーン購入法対象商品の優先購入 | ○    | 予算の問題もあり切り替えることは難しいですが、できる限りグリーン購入法対象商品の優先購入を継続して下さい。 |
| ・ 再生紙を使用する         | ○    |                                                       |
|                    |      |                                                       |
|                    |      |                                                       |

※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続

| 環境に配慮した生産活動          | 達成状況 | 取組結果とその評価                                                    |
|----------------------|------|--------------------------------------------------------------|
| ・ E & Q マーク対象機種の開発   | ○    | 純正メーカーも新製品リリースがなく、技術的にもカートリッジのリサイクルが難しくなっています。引き続き活動をお願いします。 |
| ・ E & Q マーク対象機種の販売促進 | ○    |                                                              |
|                      |      |                                                              |
|                      |      |                                                              |

※次年度の取り組み目標： 上記表の活動内容の継続／営業へ状況資料随時配布検討

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

| 法規制等名称   | 該当する要求事項                                | 該当設備・項目                         | 遵守 |
|----------|-----------------------------------------|---------------------------------|----|
| 廃棄物処理法   | 一般収集業者の契約・許可の確認。                        | 一般廃棄物<br>(紙くず、繊維くず、生ごみなど)       | ○  |
|          | 産業収集運搬・処理業者の契約・許可の確認。                   | 産業廃棄物 (金属類・廃プラ類・汚泥・廃ガラス・木製パレット) | ○  |
|          | 60cm×60cm以上表示、飛散・浸透防止、衛生管理。             |                                 | ○  |
|          | マニフェスト交付A・B2・D・E票の保管。                   |                                 | ○  |
|          | B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告 |                                 | ○  |
|          | 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出                     |                                 | ○  |
| 消防法      | 消防設備点検報告書の提出。                           |                                 | ○  |
|          | 消火器の設置、製造後10年経過の消火器の耐圧性能試験。             |                                 | ○  |
|          | 報知器・非常口等の設備の正常稼働。                       |                                 | ○  |
|          | 少量危険物の貯蔵、取扱。                            |                                 | ○  |
| フロン排出抑制法 | 廃棄の際は許可を受けた処理業者へ委託。                     | 業務用エアコン、冷蔵庫、<br>コンプレッサーのエアドライヤー | ○  |
|          | 第一種特定製品 (業務用エアコン等) の定期点検。               |                                 |    |
| 労働安全衛生法  | 化学物質のリスクアセスメントの実施義務                     |                                 | ○  |

- ・ 環境関連法規への違反・訴訟等はありません。
- ・ 関係当局よりの指摘は過去3カ年ありません。
- ・ 環境関連法規の遵守状況をチェックした結果、問題はありません。

□外部からの環境上の苦情・要望等

- ・ 外部からの苦情はありませんでした。

□地域社会への貢献と生物多様性への配慮

神戸市のグリーンベルト構想に参加し、実施計画に従って敷地内の植樹を実施しています。敷地内の土壌が悪くなかなか樹木が育たずに、植えたそばから立ち枯れをしてしまう事もありますが、土壌の入れ替えを順次行う事により、敷地内の緑化に努めています。今後も、活動を継続致して緑を増やしていくよう努力致します。他にも、近隣の企業とも協力し、パトロールを兼ねた近隣地域の清掃を行っています。心ないボイ捨て、不法な粗大ゴミまで廃棄が後を絶ちませんが、活動の成果もあり、不法投棄ゴミの量も減少しております。今後も、率先して活動して、生物多様性や地域社会への貢献につとめてまいります。また、神戸市北区内の、「はちどりネット・防災協力事務所」にも参加し、災害発生時など緊急時には弊社からも車輛や備品を提供し、協力する体制をとっています。



コロナ禍も落ち着き、活動が活発になってきました。その中で受注も回復していき、前期と比較しても生産本数は約6%程増加しましたが、それに伴う各種エネルギー関連の増加は約9%程です。猛暑によるエアコンの稼働増加による電力消費や、拡販の為に広範囲に営業活動を広げた結果としてガソリンの消費量増加もありますので単純に同じように増加率で比べる事はできませんが、今後の数字の推移には注意が必要です。地球の温暖化が進み、異常気象が続いています。その中で、品質管理上、電気の使用量の削減は難しいと思いますが、休憩時間等に不必要な機器は使用しない、電源を切るといった活動に力を入れてください。販売量が増え、取扱量が増え、顧客数も増えていくなか、二酸化炭素も産業廃棄物も排出量が増加傾向になります。工場は単純な合計値ではなくパーセントで見た場合の率の削減にも留意して活動に取り組んでください。営業は、出来るだけリモートでのビジネスの構築も視野に入れて、自動車を使用した訪問回数の削減に取り組む努力をしてください。会社は、SDGsの推進宣言を行っておりますので、ゼロカーボン、環境にやさしい商品を提供できるように頑張ってください。

令和6年5月31日  
エヌシーアイ販売株式会社  
代表取締役 大澤 恒三